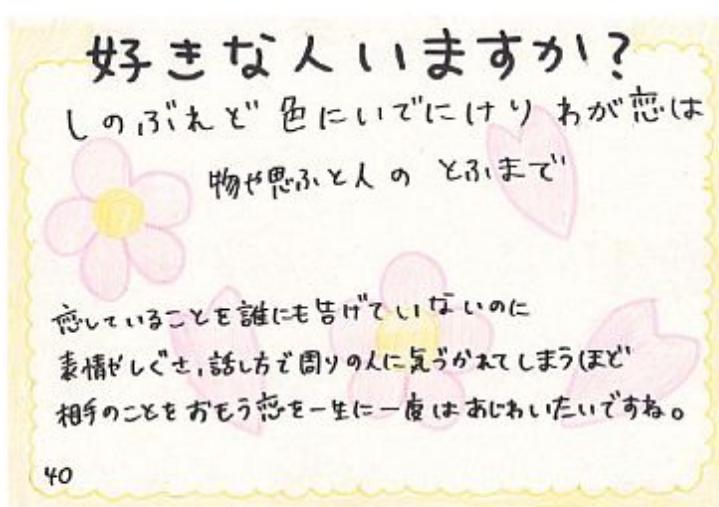
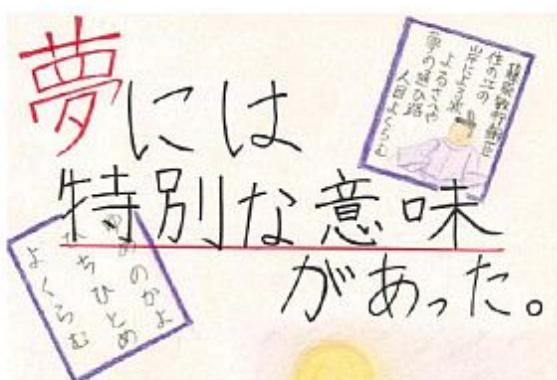
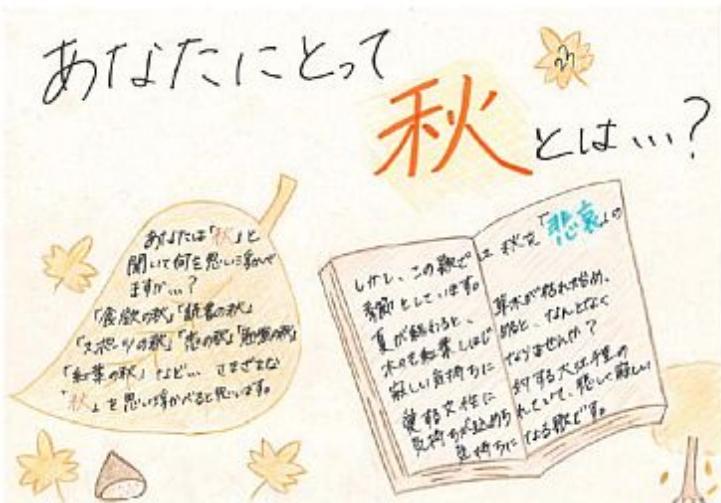
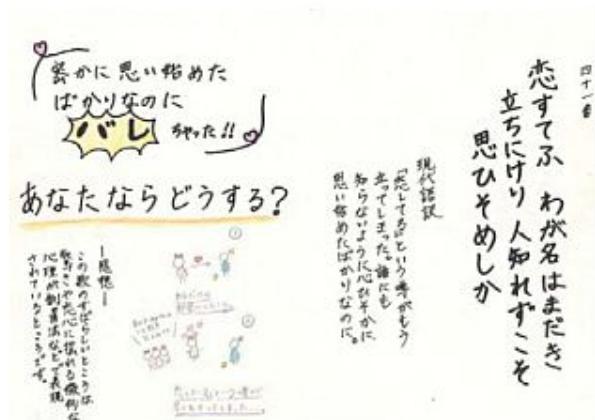
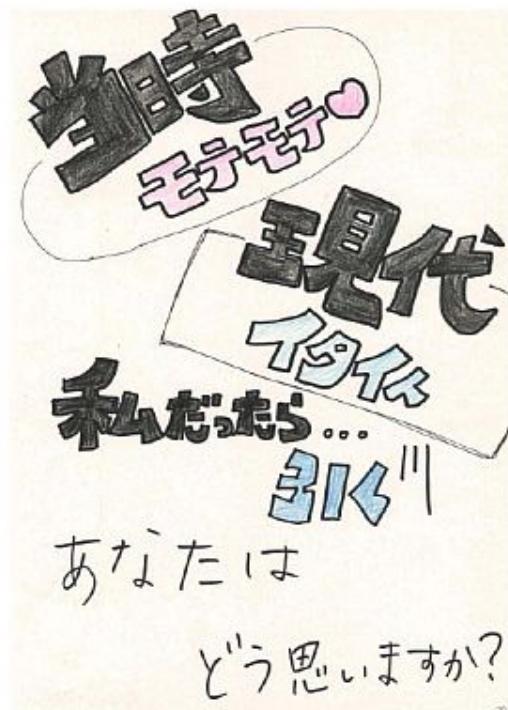
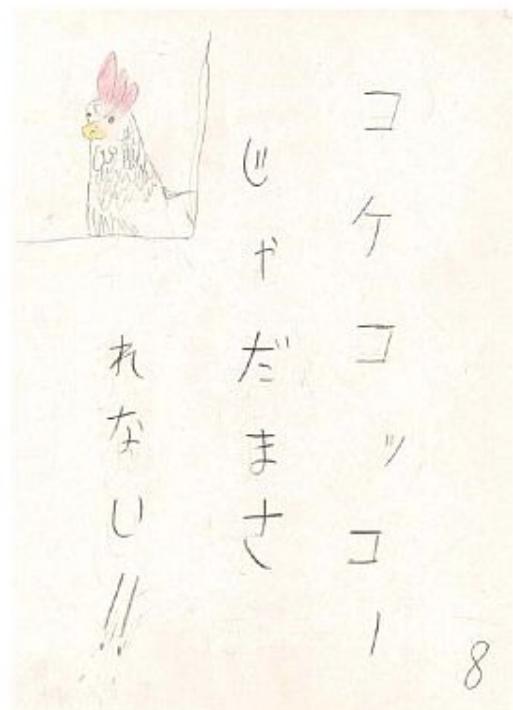
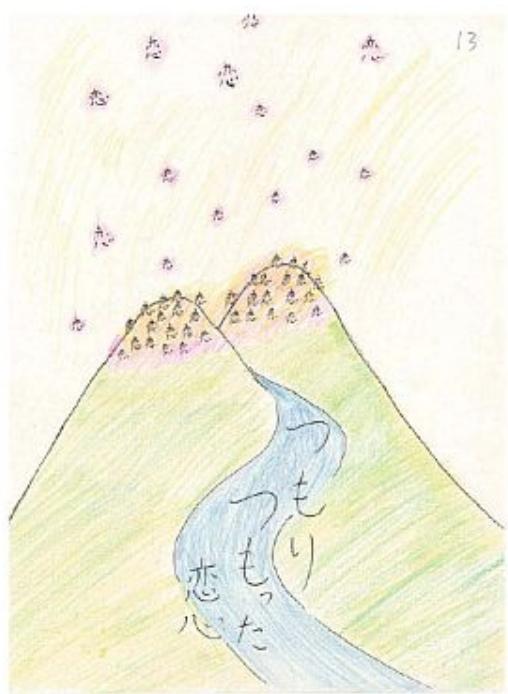
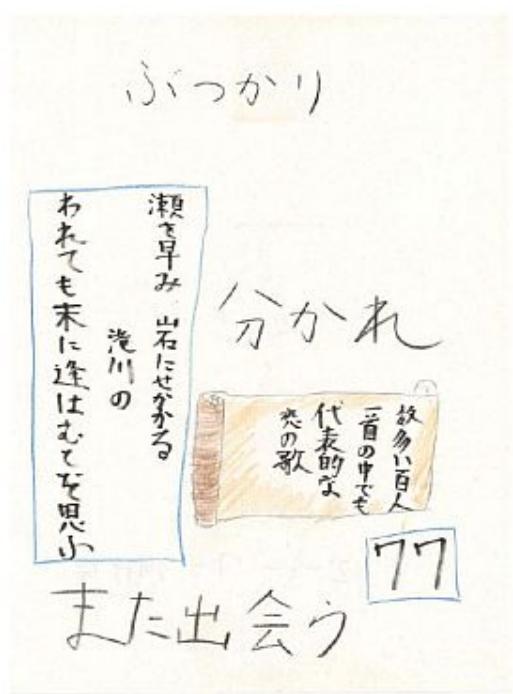


第2学年*組		国語科学習指導案		
平成25年*月*日 (* 第*校時		場所	2年*組教室	指導者 武井 知子
育成する国語の能力	我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度。			
単元名	古典			
単元目標	○資料を用いて和歌のポップを作ろうとする。 (関心・意欲・態度) ○和歌独特の表現に触れ、作者や時代背景を考察することができる。 (読む能力) ○我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむことができる。 (知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] の(1)のア(ア))			
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	
取り上げる言語活動	百人一首の中から選んだ和歌のポップを作る。			
題材 (教材)	小倉百人一首・新版初訂 カラー版 新国語便覧 等			
単元 (教材)について	(1)生徒観：基礎的学力が不足している生徒もいるが、校内の百人一首大会には多数の生徒が熱心に参加している。大会前の国語科の授業では実際に百人一首を学び札取りの練習をするが、もっと詳細な語訳や歌の背景に興味を抱く生徒も出てきている。 (2)教材観：小倉百人一首の和歌の中から取り上げて便覧を中心に勉強する。札取りというゲームとしての興味に加え、和歌を通じて、詳細な語訳や歌の詠まれた背景について知ることができる。また、便覧を資料集として活用することができるようになる。 (3)指導観：ポップを作成する過程で和歌のキャッチコピーを作成するため、簡潔明瞭な表現を工夫して、より深い鑑賞が可能になる。このことで、我が国の伝統と文化に対する理解が深まり、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成することが可能になる。			
指導計画 (学習計画)	主な学習活動	主な評価		
	1 どの和歌のポップを作るか、自分の鑑賞文を読み比べて決定する。	・鑑賞文を読み返したり便覧を利用したりして、どの和歌の鑑賞文を作るかを決めようとしている。 (関心・意欲・態度) 【行動の確認】 ・下書きの文章をまとめため、基本情報の各項目を検討しようとしている。 (関心・意欲・態度) 【記述の点検】		
	2 基本情報（何番の歌か・分類・作者名・大意）をワークシートを活用してまとめ、ポップのためのキャッチコピー（お勧めの理由・自分の思い・歌の内容など）を考える。	・百人一首にあらわれた我が国の言語文化の特性や価値に気付いている。 (知識・理解) 【記述の点検】		
	3～5 百人一首のポップを作る。	・和歌を深く読み込み、強調する点を絞り込んで効果的なキャッチコピーを作っている。 (読む能力) 【記述の点検】		
	6 作成したポップを展示し皆で投票し、その後アンケートを行い、自分の理解した和歌の数が増えたか、好きな和歌が増えたかをアンケートで確認する。	・作品に魅力を感じ、投票をしている。また、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しんでいる。 (関心・意欲・態度) 【記述の点検】 【行動の確認】		

本時の学習指導案 (第3時)		
本時の目標	○鑑賞文と便覧、参考文献をもとにしてポップの下書きを作ろうとしている。 (関心・意欲・態度) ○和歌を深く読み込み、強調する点を絞り込み効果的なキャッチコピーを作ること ができる。 (読む能力) ○ワークシートにキャッチコピーと、和歌の感想につながる惹きつける一言を記入 することができる。 (読む能力)	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 便覧・鑑賞文・参考文 献を用意する。	・必要な物が机上に出ているか、準備状 況を机間指導で確認する。	・ポップの下書きを作るた めの準備を整えようとし ている。 (関心・意欲・態度) 【行動の確認】
2 配布されたワークシ ートに必要な事項を記入し ていく。	・生徒にワークシートを配布して、ポッ プに必要な項目を確認させる。 ・書き出せない生徒もいると思われるた め、大意や作者をまず書き出させてみ る。その中で特に皆に伝えたいことに 線を引かせる。	—努力を要する生徒へ の手立て— 書くこと ができる生徒につい ては机間指導の際に個 別で対応し、作者の人物像や歌の印象など を口頭で質問し、その回 答に沿ってワークシ ートを埋めさせる。
3 ポップの用紙に下書き をする。下書きの用紙に 最も伝えたいことをどの ような内容でどのように 配置するか考える。	・机間指導で声かけを行う。 ・イメージが浮かばない生徒に対して、 見本となるようなポップをいくつか提 示して参考にさせる。 ・生徒同士自由に交流させることで、相 互にアイディアを出し合ったり、意見 を交換したりする。	・和歌の中で最も伝えたい ことを絞り込み効果的な キャッチコピーを作って いる。 (読む能力) 【記述の確認】
4 下書き及びワークシ ートを提出する。	・終了していない生徒に書くことを促し ながらシートを回収し、次の時間の予 定を確認する。	・自分の感想につながる惹 きつける一言を、ワーク シートにまとめて記入し ている。 (読む能力) 【記述の確認】

生徒の作品例





百人一首 ポップつくり ワークシート

() 番 氏名 ()

参考資料 1

歌の番号

作者名

歌の背景

現代語訳

感想

自分がもつとも伝えたいこと・ポップを見る人に興味を持つてもらいたいようなキャラクチャーパーを考えて記入しよう!

百人一首 ポップつぐり ワークシート2

() 番 氏名 ()

参考資料2

「これは下書きもでか。大まかなデザイン（イラストや文字の大まか）を実際に書いて確認しよう。魅力的に書けましたか？